

トピックス…③

酪農教育ファーム認証研修会を
愛知、新潟、東京で開催

本会は昨年12月2～3日に愛知、今年3月2～3日に新潟、5～6日に東京で、平成20年度酪農教育ファーム認証研修会を開催し、酪農教育ファーム活動に取り組む酪農家や教員を「酪農教育ファームファシリテーター」に認証するための研修を行った。3会場で新たに114人が認証された。

● 新認証制度へ移行
270牧場、401人へ

酪農教育ファーム認証制度は、平成19年度に酪農教育ファーム活動のさらなる質的發展を目指すために認証制度の見直しを行い、平成20年度より『活動が安全に行える「牧場」(酪農教育ファーム認証牧場)』と、『活動を行う「人」(酪農教育ファームファシリテーター)』の2種類に認証規程を設けて、それぞれ認証する制度とした。

酪農教育ファームの現状は、認証牧場数270牧場で前年比20牧場増、酪農教育ファームファシリテーター数401人(共に平成20年度末推定)であり、認証牧場数については平成12年度116牧場から約2.3倍に増加している。

今回の認証研修会は、今年度スタートした新たな認証制度のもと「酪農教育ファームファシリテーター」を認証するもので、愛知で32人、新潟で35人、東京で47人の酪農家などが受講し、20年度末時点での全ファシリテーターのうち約3割に当たる合計114人が「酪農教育ファームファシリテーター」に認証された。

● 酪農教育ファーム活動の手掛かりに

研修会は名古屋市の桜華会館(東海会場)、新潟市の県農業大学校(北陸会場)、東京・千代田区大手町のJAビル(東京会場)でそれぞれ2日間開き、酪農教育ファーム活動の意義をはじめ、専門の講師から安全・衛生、体験学習法の基本について講義を受けた。また、参加者が「コミュニケーション」、「知識」、「衛生管理」、「ケガ・事故」などの、これから酪農教育ファーム活動を行う上での不安・課題別に分かれたグル

ープ討議と発表を行ったほか、現在酪農教育ファーム活動に取り組んでいるファシリテーターや教員から実践事例を学んだ。

このうち、東京会場では初日に本会担当者から酪農教育ファーム活動とその意義について説明したほか、千葉県農業共済組合連合会中央家畜診療所臨床技術研修センターの獣医師・長谷川隆氏(酪農教育ファーム認証審査委員)が消費者を牧場に受け入れる場合に安全・衛生上注意する事項について、Pulsateの澤田智茂氏が体験学習における学びの場作りや体験学習の基本などについてそれぞれ講義した。

2日目には受講生が5～7人ごとに課題別のグループに分かれて課題を整理、発表した後、酪農教育ファーム活動の実践事例として、東京・練馬区の酪農家・小泉興七さん(小泉牧場)、練馬区立大泉小学校教諭の横山弘美さんが、地域にある酪農教育ファーム認証牧場・ファシリテーターと小学校との長期的な取り組み事例について、それぞれの立場から説明した。

参加者からは「一番不安なケガ、食中毒など色々な面から勉強できた」「他の酪農家さん等の状況を情報交換できた」「研修を受ける以前は酪農の知識ばかりを深める事に意識があったが、この研修を受け知識以前に人とのつながり、地域交流が重要だと改めて感じた。」などの声が聞かれた。

